

### 3. グローバル健康環境教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に(\*)を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

#### 【2017年（平成29年）度】

##### 1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

###### <東北大学>

###### ○ 台北医科大学との部局間学術協定事業【連携】

- ・学部生及び大学院生を対象として、台北医科大学との部局間学術協定に基づいて、短期間の学術交流を実施した。
- ・東北大学薬学部への当該大学からの特別研究学生の受入を行い、北海道大学との連携によって、学生及び教員の派遣を行い、交換留学プログラム報告会を開催した。

###### <金沢大学>

###### ○ 環境要因による疾病の解明と防止を担う国際医療人育成プログラム

- ・大学院生を対象として、2014年度に環境要因と疾病の関連解明、環境保全、疾病予防に関する専門知識と総合研究能力を有する国際医療人を育成するコースを設置した。
- ・本プログラムでは、2016年度に引き続き、金沢大学の環境と健康に関する豊富な研究・教育における実績を活かして、1) 疾病を誘発する環境要因を明らかにし、疾病予防に結びつけるための高度な研究力の養成、2) 日本人学生も含めた協同学習で国際コミュニケーション能力の涵養、3) 国際機関や各国政府・自治体、研究機関、企業等で環境計測、健康影響評価、予防施策を実践・指導できる人材の養成を図った。

###### <岡山大学>

###### ○ 海外病院薬剤部見学研修【連携】 (\*)

- ・学部生及び大学院生を対象として、グローバルな医療人の感覚を醸成するために、台湾で第一級の台北医科大学病院(TMU)および近隣病院(萬芳病院、双和病院)の薬剤部を見学後、各病院の指導薬剤師と様々な点について意見交換を行うことで、ア

ジアの医療薬学の現状、進歩状況などを体感する研修を実施した。

- ・台湾（台北市）臺北市立萬芳病院薬剤部、臺北医療大学（Taipei Medical University：TMU）病院薬剤部、TMU薬学部の3日間の見学研修を行った。本研修への参加により参加者自身の専門領域だけではなくより広い視野で、病院薬剤部のIT化推進、医療安全システムの拡充、卓越した医療保険制度等について体験的に学んだ。

◇ 参加人数：岡山大学大学院博士課程学生1名（岡山大学）、他大学の学生10名

<熊本大学>

○ 海外病院薬剤部見学研修 【連携】

- ・学部生及び大学院生を対象として、グローバルな医療人の感覚を醸成するために、台湾で第一級の台北医科大学病院(TMU)および近隣病院(萬芳病院、双和病院)の薬剤部を見学後、各病院の指導薬剤師と様々な点について意見交換を行うことで、アジアの医療薬学の現状、進歩状況などを体感する研修を実施した。
- ・台湾（台北市）臺北市立萬芳病院薬剤部、臺北医療大学（Taipei Medical University：TMU）病院薬剤部、TMU薬学部の3日間の見学研修を行った。本研修への参加により参加者自身の専門領域だけではなくより広い視野で、病院薬剤部のIT化推進、医療安全システムの拡充、卓越した医療保険制度等について体験的に学んだ。

◇ 参加人数：学部生及び大学院生11名

○ 行政インターンシップ

- ・学部生及び大学院生を対象として、医学、薬学、生命科学などの学問領域のみならず、臨地経験に基づく福祉、公衆衛生、環境資源、循環社会、生物多様性、環境倫理等の知識を修得するために、グローバルな視点から保健衛生に係る行政インターンシップを実施した。
- ・熊本県地域医療再生計画の拠点の1つである天草（上天草）において、“へき地”でも充実した医療を受けられる「地域包括ケアシステム」の実現に向けて、医療関係者だけでなく、行政関係者など、多職種と、熊本大学及び崇城大学の大学院生及び学部学生がワークショップ開催や地域健康フェアへの出展を行った。
- ・留学生（中国・ミャンマー・バングラデシュ・ネパール・エジプト）が参加し、グローバルな視点から持続可能な政策に繋がる具体的な提案を取りまとめた。
- ・インターンシップの内容は地域の新聞に取り上げられ、上天草市立上天草総合病院内学術研究会において、学生代表がインターンシップの取組・成果を発表した。

2) その他（大学としての取組等）

<静岡県立大学>

○ 薬食生命科学総合学府の設置

- ・平成24年度より大学院を薬学部と食品栄養科学部との融合型である薬食生命科学総合学府とした。
- ・2018年度以降も両学部融合型カリキュラムによる健康長寿を推進する研究・教育を実施している。

<金沢大学>

○ 地球規模の薬・食の安全や環境問題に対して複眼的な視点を持つ薬剤師の養成  
(\*)

- ・本学環日本海域環境研究センターと連携し、環境変動に対して最も敏感であるユーラシア東部・環日本海において、放射能計測や電磁場応用、バイオセンサなどを含む先端的計測技術を用いて、今後生起する環境変動に関する予知・予測を行ってきた。また、カウンターフィット薬による健康被害対策のための国内外の事態調査や対策のための研究を行ってきた。
- ・これらを統合し地球規模の薬・食の安全や地球規模の薬・食の安全や環境問題に対して複眼的な視点を持つ薬剤師の養成を目的とする教育研究プログラムを構築する。